

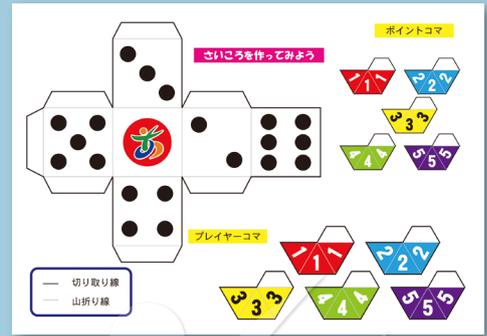
あおき

第21号
2022.Mar.
令和4年3月
発行

憶すごろくゲーム

憶すごろくの遊び方

- コマをスタートのマスに置き、順番でサイコロをふり、出た目の分だけ進みます。
- 進める方向は一方方向です。後戻りできません。
- 勝負のついたマスに止まったら、1ポイントもらえます。
- STOPのマスは必ず止まってください。
- 偶数の目が出た場合、右に進みます。かわりに1ポイントもらえます。さらに、22番の命の丘のマスに止まった場合は3ポイントもらえます。
- 赤の吹き出しがあるマスに止まったら指示に従ってください。
- ゴールした順番で、1位には5ポイント、2位には3ポイント、3位には1ポイントもらえます。
- 全員がゴールして、最終的に一番ポイントが高い人が優勝です



Contents

憶地域まちづくり推進委員会 P2~5

憶地域自治区地域協議会 P6~7

憶地区社会福祉協議会 P8~9

憶公民館 P10

宮崎地区交流センター P11

憶地域事務所 P12



広報「あおき」は「地域コミュニティ活動交付金」を活用して発行しています

安全対策部会

部会長 石川 伸一

9月の第1日曜日に開催を予定し、実行委員会も立ち上げて準備していた橿地域合同防災訓練や、防災かまどを使った小中学生向けの体験が、残念ながらコロナ禍のため中止となりましたが、潮見小学校と橿小学校への図上訓練、フィールドワークなどの防災教育への支援を他団体にも協力をいただき行いました。

防災かまどについては橿地域事務所南側フェンスに表示板を設置し、地域住民の方々へ周知を図っております。

青色パトロールについては中止期間もありましたが、感染対策を徹底したうえで隊員の安全を考慮しながら実施しました。また潮見小学校、まちづくり備蓄倉庫2か所の非常食(ビスコ缶)入れ替えを行い、期限が近い非常食は地域団体等へ配布しました。

昨年度からなかなか先が見通せない状況の中、事業が少なながらも進められたのは、部会員の皆さんや事務局、地縁団体の皆様のお陰です。ありがとうございました。



文化部会

部会長 仁田脇 康二

今年度も新型コロナウイルスの感染拡大により、制限のある活動を余儀なくされました。その影響を受けたのが「橿の文化の継承・発掘・保存事業」でした。各地区の盆踊り大会も中止となり協力ができない状況でした。

その中で橿小学校3年生が伝統になってきた運動会での「橿の盆踊り」をコロナに負けないぞ!と元気よく発表してくれました。事前の練習でもいろいろな制約があり、満足な指導ができませんでした。当日も関係者以外は立入禁止となりますが、「心」・「技」・「体」の調和が取れずばらしい盆踊りだったと報告がありました。



また「あおきのカレンダー製作事業」については、昨年のデザインやサイズ(A4)が好評でした。今年度の基本はイラストの追加や地色の検討、枚数の増刷を行いました。本誌がお手元に届くころには完成しますので、希望される皆さんは、まちづくり事務局で配布いたしますので取りに来てください。ご存じの事ですが、カレンダーは令和4年4月から令和5年の3月までです。

コロナ禍ではありましたが、皆様のお陰でどうにか今年の事業を実施することができました。ありがとうございました。

福祉部会

部会長 清山 榮美子

なかなか先が見えない今年度も下記事業が計画通りに出来ない状況でした。

(1)「子育て支援事業」

コロナ禍で「お兄ちゃんお姉ちゃんと遊ぼう」や「ちびっこ運動会」等未就学児が対象となるためにすべて中止しました。

(2)「ふれあい会食会事業」

70歳以上の高齢者300名の方を対象に、多数の自治会で開催できるよう計画しましたが、コロナ禍で中止しました。

(3)「救急医療支援事業」

救急医療情報キット事業とは、高齢者や身体障害者の方が、自宅で体調不良になり救急車を呼んだ際、本人の医療情報や緊急連絡先を情報として所定の用紙に記入し専用容器に入れ冷蔵庫扉に保管します。万一の緊急時に救急隊員が迅速に対応できるようする事業です。

今年度はコロナ禍により高齢者宅の訪問を止め記入用紙の内容について北消防署東分署を訪問しキットの必要性や記入内容を協議しました。



地域再生部会

部会長 布谷 聡



今年度半ばに部会長が緊急入院をされ、部会長不在での活動でした。コロナ禍で内容を変更した事業もありました。

(1)まちづくり掲示板設置事業では、潮見地区に設置しました。また「ゴミ不法投棄禁止看板」を42枚製作し希望する自治会に配布しゴミ置き場に掲示していただきました。

(2)「憶地区人材育成事業」の、「初心者パソコン教室」についてはコロナ禍で中止しました。

「先進地視察」は、数年前から交流をしている生目地域のお宝(名所・旧跡)の保存や維持管理状況を視察研修として計画しましたが、コロナ禍で中止しました。

「憶元輝塾」として変更を行い憶公民館で生目から講師を招いての勉強会を2月に計画しましたが、1月からのオミクロン株の感染拡大により直前に中止させていただきました。



環境部会

部会長 児玉 輝夫



環境部会の今年度事業は、新型コロナウイルスの感染拡大により事業を中止したり、縮小して実施しました。



①「一ツ葉入り江を市民の里浜にする事業」では絶滅危惧種のコアジサシ保護活動の砂嘴部分の4月清掃は部会員だけで、11月の清掃は憶中学生会役員の皆さんと一緒に行いました。多くの参加者で好評の「干潟観察会」と「野鳥観察会」については昨年同様中止とさせていただきます。

②「新別府川・江田川等をきれいにする事業」においては、今年度も宮崎市からオオフサモ撤去のご支援をいただき、6月と11月に2回の除去作業と絶滅危惧種のみズキンバイとコウホネの保護活動を部会員のみで行いました。9月から12月には、憶北小学校に3年生の授業の一環として、江田川流域の魚の水槽5台を「ミニ水族館」として展示しました。同時に別水槽で山崎エコアップ会と部会員が育てたゲンジボタルの幼虫も展示しました。幼虫は2月末の放流時期まで3年生が観察しながら育て一緒に放流しました。「江田川散策会」は中止しました。

③「憶地域花いっぱい運動事業」では、憶・宮崎中学校生徒会で中央公園花壇に夏場はひまわり、冬場は景観課から配布の花の苗を植栽し管理してもらいました。地域の皆さんにひまわりとコスモスの種を配布し憶地域の花いっぱい運動に協力をいただきました。ひまわりの種は収穫してまちづくり事務局に持参してもらい、中央公園の種も併せて「福島ひまわりプロジェクト」に3月11日に届くよう中学校生徒会役員が中心で発送しました。地域事務所花壇では1年中花が絶えないようひまわりや菜の花やコスモス、景観課から配布された花の苗を植栽し管理を行いました。地域の皆さんから「いつ見ても管理が行き届いて綺麗だね」と賞賛のお声をいただきありがとうございました。



スポレク部会

部会長 神川 考央

皆さん、元気でお過ごしでしょうか！

昨年度に引き続いて新型コロナウイルスの影響で各事業は中止を余儀なくされてしまいました。やっと!!!規模を縮小し一部事業を開催することができました。

(1)「憶地域健康づくり事業」

①「ミニバレーボール大会」を6月に計画をしましたが、体育館での開催でもあり三密を考慮し中止しました。

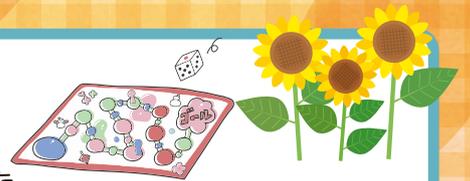
②「歩こう会」は屋外の開催ですが、多くの方々の参加が予想されるためコロナ禍でもあり中止しました。

(2)「ニュースポーツの体験事業」

参加をまちづくり推進委員会部会員に限定して12月に憶公民館大集会室で開催しました。ペタンクというボールを使ったゲームで、昨年の東京パラリンピックで話題になったボッチャ競技と同種です。1投1投の攻守逆転に大変盛り上がりました。

*新年からはオミクロン株が急激に感染拡大しまちづくり推進委員会活動も中止が相次ぎました。地域の方々や子どもたちとの交流が出来ずにとっても残念です。感染防止対策をしっかりと行いながら、今後も部会員一致団結して頑張りたいと思いますのでご理解とご協力をよろしくお願いいたします。





教育連携部会の今年度事業は、コロナ禍により事業を縮小して実施しました。

(1)「地域と学校の連携事業」ではそれぞれの学校と連携をはかり実施しました。

① 檜北小学校

6月に6年生の檜地域の総合学習、5年生の「あいがも米をつくろう」の支援は中止になりましたが、1月に檜地域の総合学習、3年生には10月に檜北小校区の総合学習、ミニ水族館、ほたるの幼虫飼育観察の支援を行いました。

② 檜小学校

3年生に「檜の盆踊り」の指導授業を9月・10月の2回行いました。詳しくは、文化部会の報告をご覧ください。

③ 宮崎港小学校

「発酵食品を作ろう事業」で5年生が大豆の種まきから育て収穫して、みそ造り体験を体験する予定でしたがコロナ禍で中止になりました。

④ 潮見小学校

「昔の遊びを楽しもう事業」は、1年生を対象に1月実施予定でしたが、直前にコロナ禍で中止になりました。

⑤ 檜中・宮崎中

「中学生交流事業」は夏休みに檜中で、春休みに宮崎中で2回計画していましたが、コロナ禍でありリモート会議に変更して部会長が防災について講話しました。

「福島ひまわりプロジェクト事業」では、中央公園噴水広場前の花壇で夏場はひまわりを植栽、冬は景観課から配布された花の苗を植栽し管理まで行いました。収穫したひまわりの種は、環境部会報告に記載通り「福島ひまわりプロジェクト」事務局に、3月11日に到着するよう発送しました。

「コアジサシプロジェクト事業」については、コロナ禍であり4月の堂巣地の砂嘴清掃は環境部会だけで対応し、11月の砂嘴清掃には檜中学生徒会の参加や当部会からも数名参加し実施しました。

(2)「未来につなぐ体験スクール事業」は秋休み開催予定でしたが中止しました。

(3)「あおき地域すごろくゲーム作成事業」は今年度新規の事業でした。地域内の名所・旧跡・公共施設・観光地・大型店舗等を調査して、地域事務所をゲームの出発・到着場所とし①番から④番まで回るゲームです。地域内の小学校では、「昔の遊びを楽しもう」の授業も行われており、ぜひ各家庭で楽しんでいただけたらと思います。ゲームでどんな所なのか興味がでた場所を訪れることで、地域のお宝の再発見になることを期待しています。事務局で関心がある地域の方々に配布しています。数に限りがありますので先着順になることをご了承ください。

1		3	4		5	6
	B					E
			7			
8	9				10	
11			12	13		
				A		G
14		15			16	
				17		18
19					20	
					F	

みんなで解いて 応募してね! **憶クロスワード**
2重枠A・B・C・D・E・F・Gを並べた言葉が答えです。

応募締切 **5/20(金)**
当日消印有効

憶

A	B	C	D	E	F	G
---	---	---	---	---	---	---

 ゲーム

ヒント 憶の名所・旧跡・公共施設等を紙面で楽しむゲーム

感染症から身を守る3つの対応

- (下記の事項に注意しましょう)
- 会食での工夫(家でも外でも)
 - マスクの着用(周囲への思いやり)
 - 料理は個々に出しましょう
 - マスク越しに思いを伝えましょう
 - 座席配置を工夫しましょう
 - 手洗い・手指消毒(まめに消毒を!)
 - 取りばし・トングの活用を!
 - きれいな手で食事をしよう

- ヨコのヒント
- 大声でしっかりつけること。
 - 交互に盤上に石を置いて行き自分の石で囲んだ領域の広さを競う2人で行うゲーム。
 - モクセイ科のハシド属の落葉樹。和名はムラサキハンドイ。
 - 日本古来の酢鰯の一種。滋賀県の琵琶湖周辺地域で作り続けられている郷土料理。
 - 身に覚えがなく潔白だと主張すること ○○を切る。
 - たぐい、仲間のこと。○○は友を呼ぶ。
 - こころがせまく、小さなことにこだわること○○をつける。
 - 平な面に遠くや近くの距離感の感じを描きだす方法。
 - 多くはかこう岩に含まれ剥がれやすい絶縁材料で、雲母と書きます。
 - 人が持っている金銭的に価値があるもの。
 - 家と家とのせまい道のこと。

- タテのヒント
- 流行性感冒のこと。A型、B型、香港型などがあります。
 - 体が黒く、くちばしが大きく、カアカア鳴く鳥。
 - 規定の試験を事故や病気で受けられなかった者に後で特別に行うテストのこと。
 - ひとり子ども、ひとりっ子。
 - 阿弥陀仏を信じるものが死後行けるといふ西方浄土。
 - 9人で構成するから転じて野球選手のこと。
 - 首都以外の地。いなかのこと。
 - わずかな違いや、へだたりのこと。○○○の判定で勝利する。
 - 時勢のなりゆきで、人の運命を判断すること。
 - 字やことばのこと。短歌は三十一〇〇。
- 賞品はこちら

応募方法 はがき、FAX、メール、持参可(用紙の形式は問いません。)必要事項を明記の上、お申し込み下さい。
①答え、②住所、③お名前、④年齢、⑤電話番号、⑥憶のまちづくりについてのご意見をお書き添えの上、ご応募下さい。正解者の中から抽選で5名の方に憶地域の特産品を差し上げます。
※当選者には事務局よりご連絡差し上げます。
※なお賞品を事務局まで取りに来ていただける方に限らせていただきます。

応募先 憶地域まちづくり推進委員会事務局
〒880-0841
宮崎県宮崎市吉村町江田原甲265-1
TEL.28-0101・FAX.83-0050
E-mail:aoki-machi@miyazaki-catv.ne.jp

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGsの視点から橿のまちづくりを考えてみよう

橿地域自治会地域協議会では、平成26年に地域の皆さんが同じ目標に向かって取り組むための「橿地域まちづくりプラン」を策定しました。「住みたい・住み良い」魅力あふれるまちづくりを推進することは、SDGsの17の目標へと繋がります。皆さんも出来ることから始めてみませんか。

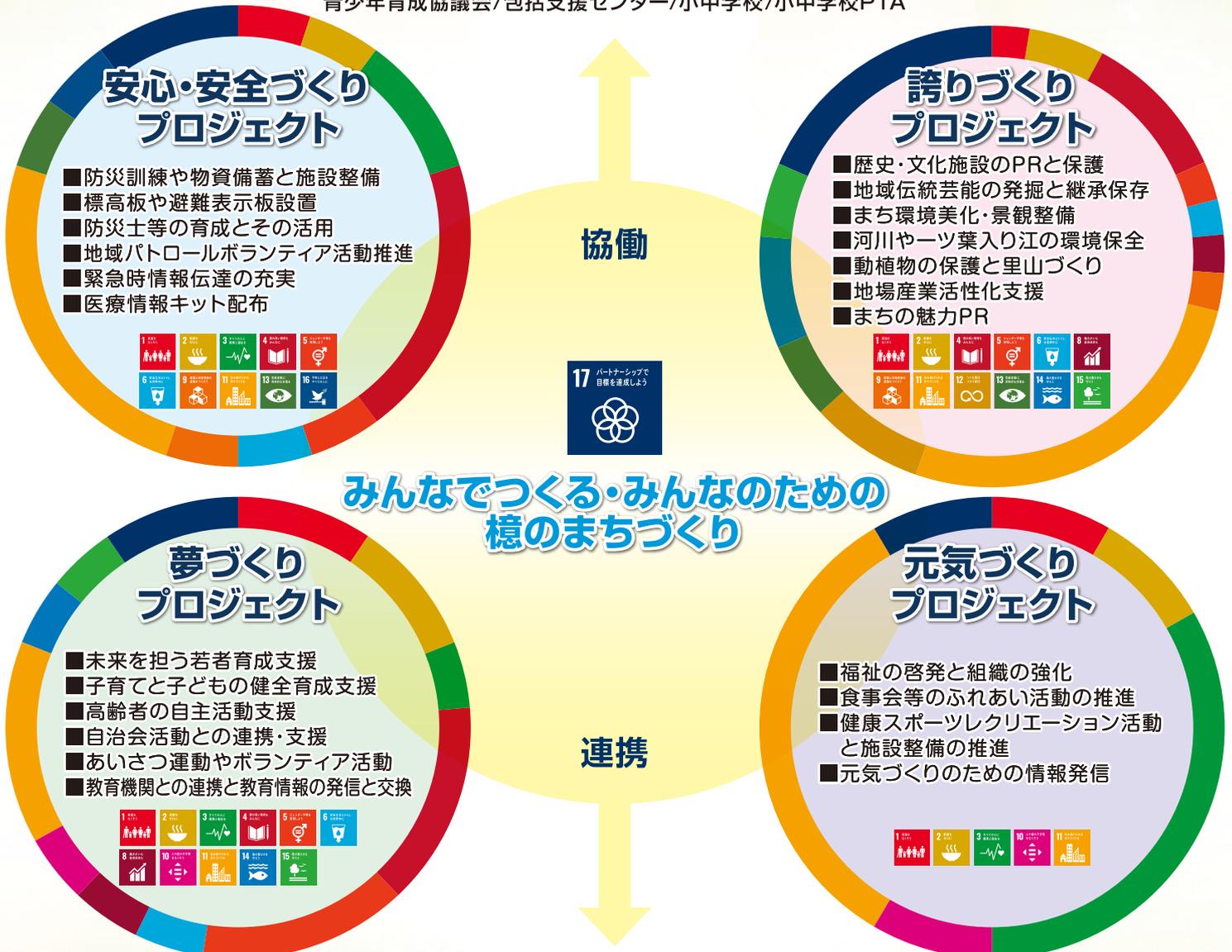


Aoki・Kakki・Genki (あおき・活気・元気)

A・K・Gプロジェクト

～みんなで取り組む「住みたい・住み良い」魅力あふれるまちづくり～

地区自治会連合会/民生委員児童委員協議会/自治公民館連絡協議会/地区社会福祉協議会
青少年育成協議会/包括支援センター/小中学校/小中学校PTA



振興会/老人クラブ連合会/子ども会育成連絡協議会/地区体育会/漁業・農業関係団体/消防団/宮崎市各機関





檜地域自治区

ふるさと納税をして檜地域を応援しませんか

宮崎市では、各地域での取り組みを応援するため、「地域版ふるさと納税」の制度があります。返礼品はありませんが、寄附をされた方がサポーターとして登録すると、檜地域まちづくり推進委員会から事業への参加案内や地域の出来事・行事などの情報を提供します。宮崎市外の方はもちろん、宮崎市内や檜地域にお住まいの方も寄付できます。



AKGAKGAKGAKG 寄付をするには AKGAKGAKGAKGAKGAKGAKGAKGAKGAKGAKGAKGAKGAKG

(1) 寄付の申し出

インターネットまたは、郵送(FAX)のいずれかをお選びいただけます。

【インターネット】

- 宮崎市ホームページの専用フォーム
<https://logoform.jp/form/HxnK/12334> に、お名前、ご住所、ご連絡先、指定する地域まちづくり推進委員会、地域への想いや応援メッセージ等の入力をお願いします。
- 地域まちづくりサポーターには、このフォームで登録(登録は任意です。)できます。
- 申し出を確認後、市から振込用紙を送付します。



専用フォーム
二次元バーコード

【郵送(FAX)】

地域コミュニティ課まで、ご連絡をお願いします。必要書類を送付いたします。

(2) 入金(郵便振替)

入金方法は、郵便局専用「払込取扱票」のみになります。

税額控除

ふるさと納税では、寄付金額の2千円を超える金額について、所得税やお住まいの自治体に納めている個人住民税の控除を受けることができます。(税額控除額は、寄付者の所得額や寄付金額等によって異なります。)



憶地区社会福祉協議会

宮崎市吉村町江田原甲265-1
憶地域事務所内
TEL・FAX / 0985-20-2147
E-mail: aokishakyo@miyazaki-catv.ne.jp

令和3年度の事業

○憶地区ふれあいサロン代表者情報交換会 7月12日(月) 憶地域事務所会議室

昨年に引き続きコロナ禍でサロン開催を悩まされている状況の中、サロン代表者9名、地区社協4名、市社協2名が集まり情報交換会を行いました。各サロンの現状の報告、悩み等を話し合い今後の活動の参考にされていました。



○ふれあいサロン会食会

登録サロンの7地区が会食会を実施しました。2年ぶりに会食会を開催した地区もあり、参加者の方たちが久しぶりにみんなに会えて大変喜ばれたとのことでした。



○高齢者見守り訪問活動

7月や12月に実施した見守り訪問時に、民生委員さんを通して大塚製薬より寄付していただいた「経口補水液OS-1」やゴミ袋などを配布していただきました。



○障がい児・者関係団体との連絡会議

毎月第3水曜日に開催されている自立支援協議会暮らし支援部会の定例会に地区社協民生福祉部会員が交代で参加し、勉強させていただきました。コロナ禍で会議室に集まれない時はオンラインで参加しました。今年度は主に避難所での必要な配慮をまとめ、冊子発行までの協議をされていました。

○憶北小学校4年生 総合的な学習の時間(福祉学習)の支援 生徒104名

●憶地区社協の高齢者に対する 取り組みのお話 10月29日(金)

ふれあって広げよう笑顔の輪という单元の中で、井野会長が地区社協の高齢者に対する取り組みについてお話をしました。みんな熱心に聞いてくれて最後には質問もたくさんしてくれました。

●認知症サポーター養成講座 11月5日(水)

ファシリテーター(進行協力員)として民生委員2名、福祉協力員2名、地区社協5名が参加しました。



○参観日一時預かり事業

11月14日(日)潮見小学校・11月20日(土)憶北小学校

2年ぶりに参観日一時預かり事業を実施しました。預かり未就学児の利用が潮見小12名、憶北小11名ありました。ボランティアスタッフとしては潮見小11名、憶北小9名の方に協力していただきました。

○子育てサロン 12月から再開 憶北地区「とことこ」・憶南地区「もくもく」 合同開催 阿波岐原町自治公民会

2年ぶりにサロンも再開し、12月10日にクリスマス会を実施しました。8世帯(保護者8名、子ども8名)の参加があり、クリスマス工作やクリスマスソングでリズム遊び等を行いました。最後にはサンタさん登場でみんな大喜びでした。

○憶小学校2年生 生活科学習の協力 12月1日(水)

生活科学習「レッツゴーまちたんけん!」で生徒91名・先生5名が地域事務所、まちづくり推進委員会、憶公民館、地区社協を見学に来ました。各施設の仕事を説明した後でそれぞれたくさんの質問がありました。後日、2年生一同よりお礼のお手紙をもらいました。



新規事業

○寺子屋みんなの教室 8月5日(木)潮見小学校・8月6日(金)楳北小学校

初めての試みとして、今年度は潮見小学校・楳北小学校で「寺子屋みんなの教室」を開催しました。夏休みの宿題を地域の大人や、中学生のボランティアで見守りながらサポートしました。潮見小14名・楳北小7名の児童の参加がありました。ボランティアとしては潮見小18名・楳北小11名の方に協力していただきました。

参加した児童は、ボランティアの方々からアドバイスをもらいながら一生懸命宿題に取り組んでいました。中学生のお兄ちゃん、お姉ちゃんたちから優しく教えてもらって夏休みの宿題がとてもはかどったと喜んでいました。ボランティアで参加した中学生も小さい子と交流ができてとても良い経験ができたと言っていました。今後も少しずつ寺子屋みんなの教室を広め、継続していけたらと思います。



○ボランティア入門講座 11月30日(火) 楳公民館

登録ボランティアの方を対象にボランティア入門講座を行い、ボランティア14名、地区社協6名の参加がありました。ボランティアの心構えや地区社協についての説明を行いました。また参加された方々の活動事例の情報交換もでき、今後のボランティア活動に活かせたらと思います。



○ボランティアの日 in あおき あなたのお困りごとと助けますボランティア! 12月12日(日)

今年度はコロナ感染予防のため、屋外の作業に絞って日頃のお困りごとのニーズをあげてもらいました。事前に民生委員さんよりニーズ調査を行ってもらい、あがってきたニーズを検討し、計7件のニーズに対応しました。59名のボランティアの方々に協力してもらい、各7グループに別れ、一人暮らし高齢者のお宅を訪問し1時間～1時間半作業を行いました。参加した中学生からはお年寄りや体の不自由な方々のお手伝いができ、今までにない経験ができた。ボランティア作業後の達成感、やりがいを感じたのでぜひまた参加したい。高齢者の方に「ありがとう」と言ってもらって本当にうれしかった等たくさんの感想をもらいました。



楳地区ボランティア募集中

「みんなが安心 助け合う 福祉のまち 楳」を目指して…
1人1人が無理なく、出来る範囲で、楳地区を支援していきましょう。



賛助会員募集中

楳地区社会福祉協議会の活動にご賛同いただき、賛助会費を納入された方が賛助会員です。この会費は、ふれあいサロン・会食会への助成、閉じこもりがちな高齢者への支援、健康ふくしまつり等の福祉活動に使わせていただきます。

《賛助会費・年額》 ●個人1口 年500円 ●団体1口 年1,000円 (何口でも結構です。)

※会費は楳地区社会福祉協議会へご持参いただくか、楳地区社協までご連絡よろしくお願いたします。

憶地区成人式

- ◆ 令和4年1月9日(日)
- ◆ 憶中学校体育館

今年は、新型コロナウイルスの影響で3密を考慮した開催となりましたが、成人者総勢175名の参加を頂き、地域の方のご尽力もあって厳粛な中にも心温まる場面のある成人式でした。新成人の皆さんは、諸先輩の皆様から励ましの言葉を頂き、また成人者同士で当時の出来事などで会話が弾み、和やかな時間を過ごしていました。新たな決意の下、新成人の皆さんが今後活躍される事を祈念しております。



新成人誓いの言葉
黒岩 由悟さん



代表来賓祝辞
山崎 福男さん



新成人誓いの言葉
永谷 里奈さん



恩師との再会



着物でSDGs	心おどるフラワーアレンジメント	シャトルを飛ばしてストレス発散	数独、解ければ気分爽快に!
"違いがわかる大人"を目指して	スマホを自由自在に	未来に向かって憶を元気に	おうち時間で美味しさ発見

前期8講座のご案内 (詳しくは公民館講座案内にて)

新刊のご案内

憶公民館の図書貸出は、宮崎市立図書館のカードで。

タイトル	著者	タイトル	著者
琥珀の月	辻村 深月	寝れぬ夜はケーキを焼いて	午後
月下のサクラ	柚月 裕子	あつあつを召し上がれ	小川 糸
神よ憐れみたまえ	小池 真理子	ぼくはイエローでホワイトで ちょっとブルー2	ブレイディ みかこ
その壁をたたく音	瀬尾 まいこ	歌集「前線」	犬養 楓
つまらない住宅地のすべての家	津村 記久子	洋食小川	小川 糸
ソロモンの偽証 第I部 事件	宮部 みゆき	ふしぎ駄菓子屋銭天堂 16	廣嶋 玲子
90歳セツの新聞ちぎり絵	木村 セツ	おしりたんてい ふめつのせつとうだん	トロル
おしりたんていプッチいさな しょうちのだいピンチ!?	トロル	元彼の遺言状	荒川 帆立
夢をかなえるゾウ	水野 敬也		

次回の新刊入庫はR4.7月を予定。お楽しみに



宮崎地区交流センター

あつまる まなぶ つなぐ

宮崎市吉村町ハンテ甲2386番地139
TEL: 20-3512 FAX: 24-2492

令和3年度もコロナウイルスに振り回された1年でした。感染拡大防止のために5月から何度も休館になり、利用者の皆様にはご迷惑をかけました。しかし、交流センターとして大きな2大行事である「文化祭」、「成人式」は規模を縮小して何とか開催できました。今年こそコロナ前の日常生活が営まれることを願ってやみません。

令和3年度後期公民館講座（一部紹介します）



キッズイングリッシュ



キッズプログラミング



にんにん忍者



鉄棒教室



スマホタブレットを使いこなそう



初めてのハングル



手打ちそばで年越しを!



初めての木工

令和4年度前期公民館講座の案内

令和4年度に計画している公民館講座です。早い講座は5月から始まります。詳しくは、3月に市から自治会を通して全戸配布されます市全体が記載された講座案内「まなぶど!」をご覧ください。

講座名(成人向き)		講座名(親子・子ども向き)	
1	初めての木工	1	はじめましての親子講座
2	持っているスマホを使いこなそう	2	すくすく!たのしく! 足育とアロマで虫よけ
3	郷土の民謡を大師範と楽しく唄おう	3	プログラミング教室
4	おうちでフィットネス	4	はじめての習字1、2、3年生
5	やってみよう 園や学校での読みきかせ	5	はじめての習字4、5、6年生
6	ようこそ!マジックの世界へ	6	チャレンジ俳句
		7	夏休みチャレンジ陶芸1
		8	夏休みチャレンジ陶芸2
		9	夏休みにつくってみよう! 身近な工作

令和3年度後期新刊図書の紹介

宮崎地区交流センターで購入した新刊図書です。閲覧は自由ですが、貸し出しには市立図書館のカードが必要になります。どうぞご利用ください。

◎成人向き 署名(著者)		◎子ども向き 署名(著者)	
1	彼岸花が咲く島(李琴峰)	1	さくらの谷(文:富安 陽子)
2	星落ちて、なお(沢田 瞳子)	2	お菓子はすごい!(菅又 亮輔)
3	すごすぎる天気の本(荒木健太郎)	3	どっちがどっち(梁井 貴史)
4	お探し物は図書館まで(青山 美智子)	4	お父さんが教える13歳からの金融入門(デヴィット・ピアンキ)
5	よけいなひとを好かれるセリフに変える言いかえ図鑑(大野 萌子)	5	12か月のおりがみ壁飾り(いまい みさ)
6	九十八歳。戦いやまず日は暮れず(佐藤 愛子)	6	世界一やさしい超勉強法101(原 マサヒコ)
7	1日1日、読めば心が熱くなる365人の仕事の教科書(藤尾 秀昭)	7	マンガ 論語と孔子 Iーを以て之を貫く(竹下 弘太郎)
		8	マンガ 論語と孔子 II 永遠に流るるもの(竹下 弘太郎)



★ 檜地域事務所で **証明書** を発行しています。



交付の際には
本人確認を
行っています。

- 住民票の写し・住民票の記載事項証明書 ●市税に関する諸証明書(所得証明書等)
- 戸籍謄本・戸籍抄本・身分証明書等(本籍地が宮崎市の方のみ) ●健康手帳
- 印鑑登録証明書(印鑑登録番号証書もしくは有効期限内の住基カード、個人番号カードと4ケタの暗証番号の入力が必要です)
- 代理の場合、本人からの委任状が必要になることがあります。事前にお問い合わせ下さい。
- はり・きゅう・あんま施設利用者証(国民健康保険、後期高齢者保険医療加入者が対象)

※滞納無証明は市民課・総合支所での発行となり、地域事務所では発行できません。
※マイナンバーカード(個人番号)の申請・受け取り・更新はできません。
※住民異動や戸籍の届出、印鑑登録、市税等の申告や納税はできません。

詳しくは、宮崎市のホームページやNTT西日本タウンページ内の「宮崎市暮らしの便利帳」にも掲載があります。

《窓口業務》月～金曜日 8時30分～17時15分 ※土、日、祝休日、年末年始はお休み。【TEL:28-1111】

エコ活動 してみませんか?

檜地域事務所に使用済小型家電ボックス・廃食用油回収ボックスを設置しています。

25cm×10cmの投入口から入る小型家電を集めています。入らないものは「燃やせないごみ」として出してください。

使用済小型家電回収ボックス

回収対象品(42品目) ●ICレコーダー●ETC車載ユニット●音楽プレーヤー●カーナビ●懐中電灯●携帯電話●携帯用テレビ●小型マッサージ器●コントローラ●スピーカー●体重計●デジタルカメラ●トランシーバー●ビデオカメラ●ファクシミリ●フィルムカメラ●ヘアアイロン●ドライヤー●補聴器●万歩計●小型充電式電池●家庭用電動吸入器●DVD(BD・HDD・ビデオ)プレーヤー●ハードディスクドライブ●ヘッドホン、イヤホン●電子機器付属品(ACアダプタ、充電器、ケーブル類)●ゲーム機(携帯型・据置型)●電子玩具及び電動式玩具●電子時計及び電気時計●電子血圧計●電子辞書●電子書籍端末●電子体温計●電気かみそり●電卓●電動歯ブラシ●電動バリカン●電話機●USBメモリ●ラジオ●リモコン●電子たばこ●加熱式たばこ

「使用済み小型家電」の回収品目の追加

小型充電式(モバイルバッテリーを含む)などが原因と思われる、「エコクリーンプラザみやざき」での発火トラブルを防ぐため、次の品目を「使用済み小型家電」として令和元年10月1日から回収しています。

- ・小型充電式電池(本体・充電器)
- ・電子たばこ・加熱式たばこ(電池が取り出せる場合、中から取り出し単体で!)



※上のマークがついた充電電池(バッテリー)単体のみ、今までどおり電器店など回収も可能

廃食用油回収ボックス

家庭から出る使用済てんぷら油や賞味期限切れの食用油で植物性のものを回収しています。



使用済小型家電ボックス

※小型家電回収ボックスの投入口(縦10cm×横25cm)に入るものに限りです。

一 檜地区拠点回収 一 【使用済み小型家電回収ボックス】・檜地域事務所・宮崎地区交流センター・イオン宮崎(1階イオンスタイル食品入り口)・生活協同組合コープみやざき宮脇店
【廃油ボックス】・檜地域事務所・宮崎地区交流センター・ながの屋浮之城店

各施設の業務(営業)時間
のみの回収となります。

〈使用済み乾電池は、「その他資源物」の収集の日(月1回)に出してください〉

あおき人 no.11 地域の話題の人を紹介していきます。

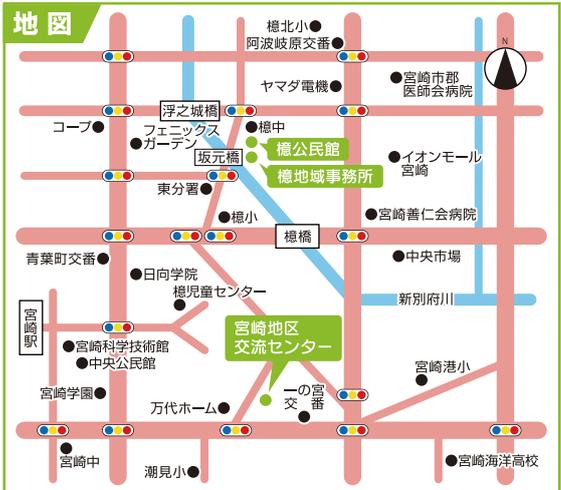
池江修身さん(80歳)

今回ご紹介するのは檜地区自治会連合会会長の池江修身さんです。

池江さんは、若い頃より小中学校のPTA役員をされ青少年育成活動や地域活動に頑張っておられます。

55歳の時に平塚自治会長に就任されました。14年前にまちづくり推進委員会が発足すると地域協議会委員や安全対策部長また檜地区社会福祉協議会会長を歴任され、現在は檜地区自治会連合会会長そして宮崎市自治会連合会の副会長として自治会加入促進、地域の自治会活動発展のために頑張っておられます。

最近ではコロナ禍で事業自体が制限され、活動の場が少なくなっていますが、今後も健康に留意されて更なるご活躍をお願いします。



宮崎市ホームページに「檜地域の情報」を掲載しています。ぜひ、ご覧ください。➔

編集・発行 皆さまの声をまちしています! <https://www.city.miyazaki.miyazaki.jp/>

檜地域まちづくり推進委員会

〒880-0841 宮崎市吉村町江田原甲265-1《TEL:0985-28-0101・FAX:0985-83-0050》
E-mail:aoki-machi@miyazaki-catv.ne.jp

